五行歌の会	きんきサロン通信５月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.045　2026.5.15

５月　かきつばたです（写真：洛北大田神社のかきつばた）

唐衣（からころも）
着つつなれにし
妻しあれば
はるばる来ぬる
旅をしぞ思ふ

この和歌は高校の古文の教科書にも出てくる、『伊勢物語』中の東下りの段、在原業平の歌です。歌の背景は、京の都を離れ、東国へおもむく途中の在原業平が、愛知県の「八橋」（現在の愛知県三河地方）にさしかかった時、咲き乱れるかきつばたの花を見た同行の仲間が「かきつばた」の五文字を五行の頭に使って（これを「折句」と言います）即興で歌を作って下さいとリクエストしたのですね。業平が即詠したのが上記で、歌意は、

着慣れた「唐衣」のように馴染んだ妻を京に残して、はるばるとこんな地まで旅をしてきたことだよ…というぐらいの意味です（意訳です、あまりツッコまないでね^_^;）

同行の人達は心を打たれ涙を流し、食べていた「乾飯（乾燥させたご飯）」が涙でほとびてしまったというお話しです。現在では三河まで新幹線なら一時間程で行けるのですが、当時は大変な旅だったことが想像されますね。

なんでこんな話を、冒頭長々と持ってきたのかと言いますと、今回の歌会に「かきつばた」を使った折句歌が出されたのですね。5 月はかきつばたが旬ですので、大田神社のかきつばたとか、話がいろいろ盛り上がりました。余韻会の最中、編集長が、今回の通信「かきつばた」でいこうと振ってこられたので、は～いと受けてしまったわけです。

毎号、今号は「どんなネタでいこうか？」編集長と発行人で決めるわけですが、事前にこれね！と決める場合もありますが、ほとんど、今号どうするか決めていないケースが過半です。きんき会員だけでなく、全国に読者がおられるので、できるだけ旬の京都情報をコアにが思いです。

さて、どの歌が折句なのか、皆様探して下さいね。余談ですが、あやめ、花菖蒲、かきつばたの見分け方を、故今井泊舟さんから教えてもらいました。簡単で間違いのない見分け方で、以前はちょっと自慢してしゃべっていたのですが、今はＡＩに訊けばすぐ教えてくれますので、ネタばらし割愛です。

１席は２首、ほたるいかさん歌、発想が凄い、宇宙的スケール感が凄いと、この人特別と参加者を驚かせました。もう１首は福田知代子歌、黄色いカッパのお子さんが、懸命に前に向って努力している姿は、ストレートな訴求力で、ほぼ全員共感のお歌。参加者年齢を大いに下げていただき、こういう若さの感じられる歌もいいです。２席も２首、平村幸子歌、「薫風自南来」の漢語の響きと醸し出す季節感が秀逸、安定感あるベテランの歌に好評。小倉はじめ歌、五行目の表現に拘っただけだと謙遜ですが、旬の筍の表現に、皆様うらやましい！となりました。

（いぶ記）

第 326 回きんきサロン

1
母鳥は
ひなが旅立てば
強く大きく羽ばたく
見てるだけの翼を閉じた
わたしはオシドリ
西村康則 同３席 ６点

2
玄関の
色紙に
薫風自南来
身も心も軽くなりたい
今年の五月
平村幸子 同２席 ９点

3
今年も
朝ぼりの筍
いただいた
刺身で舌づつみ
若さが身(かわた)に入ってきた
小倉はじめ 同２席 ９点

4
神の存在に
気づかされる
爪弾くリュート
バロックの
たえなる調べ
玉虫

5
ブラックホールに乗ってみた
星の中に空がある
黒なんて嘘っぱちだ
ミルキーホワイトのスクリーンに
花火が咲いている
ほたるいかさだ 同１席 11 点

6
道の駅の入り口に
メダカが一匹入った
瓶が並んでいる
動き回っているが
藻もなく淋しそう
黒田節子

7
ウグイスさん
そこまで自慢げに
鳴かんかてええやん
君も最初は
謙虚やったんやろ
いぶやん

8
雨上がりの
飛鳥サイクルロード
新緑の古墳訪ねて
初めまして渡来人
思いは巡りて
HIKARIKO 同３席 ６点

9
おぼえたての自転車
黄色いカッパのうしろ姿
ふり向かずに
坂道をのぼる
キラキラした夏のはじまり
福田知代子 同１席 11 点

10
花が美しいのか
きせつのまことが
美しいのか
さくら
咲いて散る
文治郎

■（参加者：９名）いぶやん・小倉はじめ・黒田節子・玉虫・西村康則・平村幸子・福田知代子・ほたるいかさだ・HIKARIKO・
（歌のみ）文治郎

■次月６月きんきサロン
2026.6.7（日）13:30　ウイングス京都

■編集長の一言

5 月 5 日こどもの日、今年の七夕歌会にて訪問予定のびわこバレイをカミさんと二人で訪ねてきました。この日は晴れて多くの観光客で賑わっていました。駐車場も満杯で、NO14 の駐車場から駐車場内連絡バスで、ゴンドラ山麓駅へ移動。だから駐車台数も午前の段階で 500～600 台でしょう。因みに駐車料金は GW 特別日料@2,000 円、駐車料収入〇〇〇万円です。ゴンドラ料金も値上げされ@4,500 円で、ゴンドラ収入〇〇〇〇万円でしょうね。編集長夫婦は年パス使用なので、ゼロ円でしたけど。下世話な話はさておき、山上気温は本日 12℃、快適で、写真のようにスイセンが満開 1000mの花の楽園、見事でした。

7 月の七夕歌会時は、残念ながらスイセンはありませんが、眼下に拡がるびわ湖の絶景をお楽しみください。7 月七夕歌会当日の晴れを望んで今から精進しておきます！

（はじめ記）